

評価基準書

区分	評価項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
(1)趣旨の理解	趣旨の理解	本業務の目的を理解した内容か。	50 <20>
(2)実績	事業者の業務実績	類似する業務(集客や受付対応サービス等)で実績・成果を有する等、所有するノウハウの有効活用が本業務で見込めるか。	50 <20>
(3)執行体制	執行体制	業務遂行のために適切な人員規模・配置、役割分担か。	50 <20>
(4)提案内容	①実施日程・場所	<p>ターゲットが足を運びやすい日程・場所選定か。</p> <p>★提案の中で、申請サポートを実施する「日時」と「場所(店舗名等)」、「受取手続場所の有無」を明示すること。</p> <p>※実施日程は日数が多いほど良い。 ※場所は集客が見込めるほど良い。</p>	300 <120>
	②PR	ターゲットに情報が届き、ターゲットを動かすPRか。	200 <80>
	③独自提案	事業の目的達成に有効な独自提案か。(提案限度額内で実行可能なもので、追加予算を必要としないものに限る。)	50 <20>
(5)価格	令和5年度の履行期間の委託料の総額(消費税及び地方消費税を含む。)	$300 \text{ 点} \times (1 - \text{提案額} / \text{提案限度価格})$ (小数点以下切捨て)	300
合 計			1000

※評価点欄中の上段は選考委員一人当たりの配点

※評価点欄中の下段< >は選考委員5名の評価点を平均した場合の最低水準